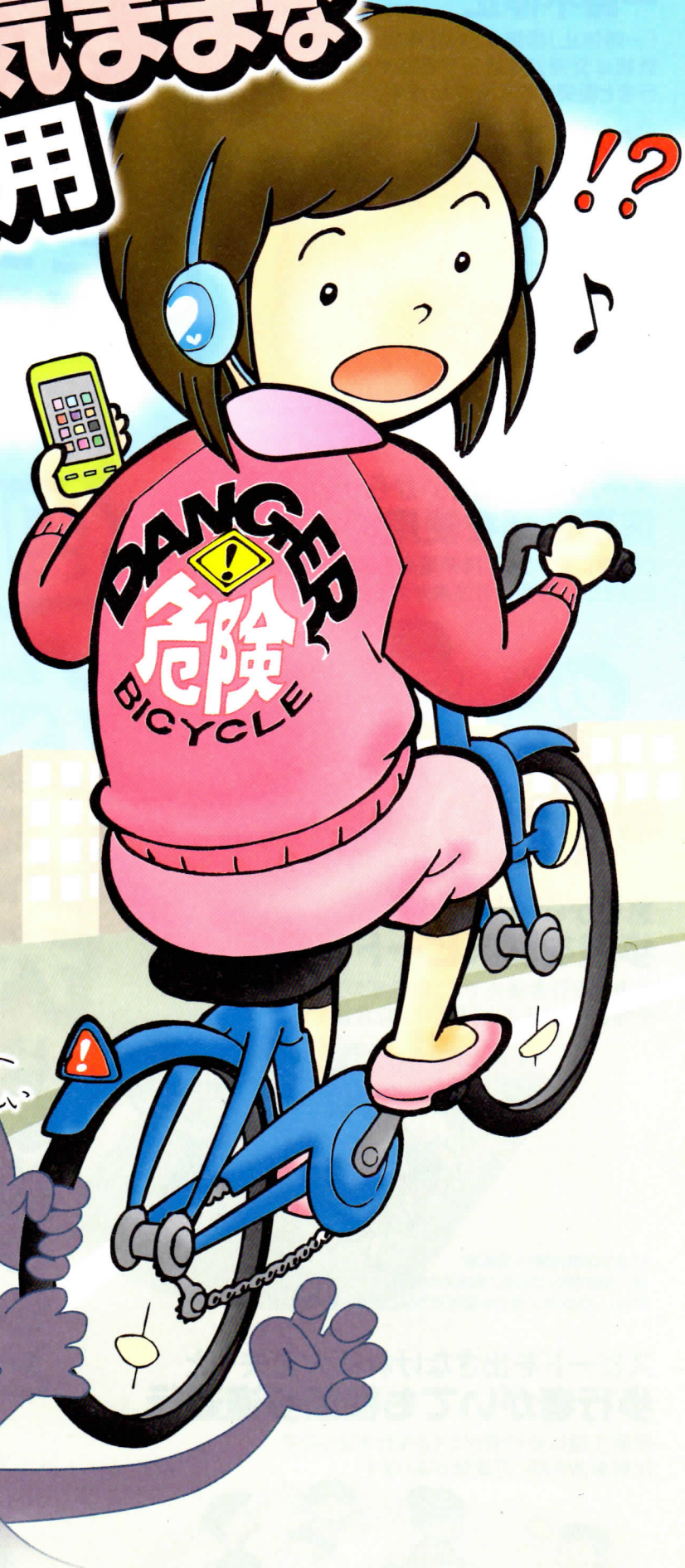


やってませんか? わがまま気ままな 自転車利用

法律上はクルマ(車両)の一種とされる自転車には、守らなければいけないルールがあります。にもかかわらず、身近で手軽な乗り物であることから、無神経に自分勝手な利用をしてしまいがちです。交通事故にもつながりかねない危険な自転車の利用方法、あなたはしていませんか。



もしものときの安全・安心 TSマーク

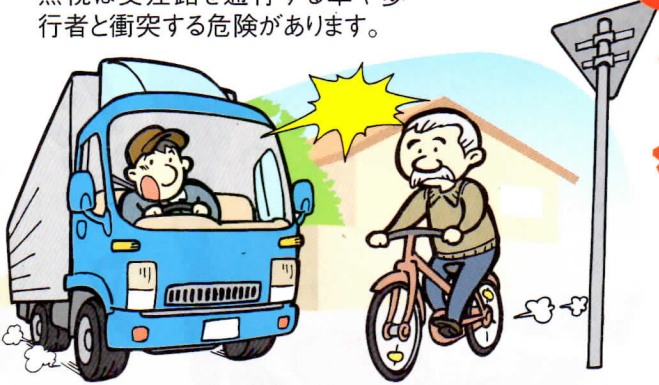
年1回、自転車安全整備士のいる自転車安全整備店で点検・整備(有料)を受けると傷害補償と賠償責任補償のついている「TSマーク(1年間有効)」が貼付されます。



危ない世界へ
いらっしゃーい

止まるのが面倒だから…と 一時不停止

「一時停止」標識などの見落としや無視は交差点を通行する車や歩行者と衝突する危険があります。



停止線の直前で必ず止まって安全を確認!

メールを打ちたいから…と 携帯電話を使用

自転車に乗りながら携帯電話を操作すると片手運転になるだけでなく、周囲への注意がおろそかになり危険です。



急ぐから…と 歩道を猛スピードで走行

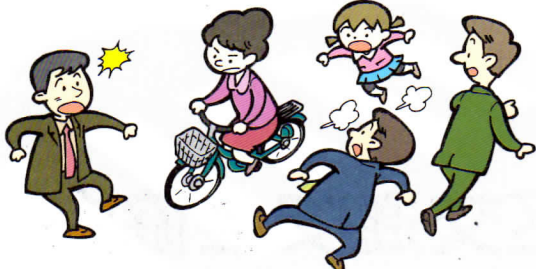
歩道は歩行者優先です。歩行者の通行を妨げたり、恐怖感をあたえるような走り方は危険です。



歩道では車道寄り(自転車通行指定部分があるときはその部分)を徐行し、歩行者の通行を妨げそうなときは一時停止!

スピードを出さなければ大丈夫…と 歩行者がいても横断歩道通行

横断歩道は歩行者がたくさん行き交うので接触事故を招く可能性があります。



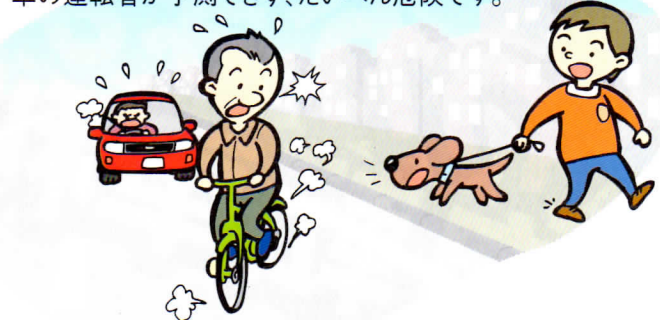
横断歩道では自転車から降りて押して渡りましょう。

身勝手面倒大丈夫

は事故のもと

歩道も車道も通れるから…と 歩道から車道への急な乗り入れ

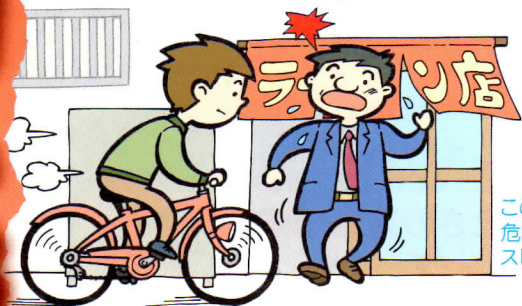
自転車の急な進路変更や車道への急な乗り入れは、車の運転者が予測できず、たいへん危険です。



進路変更するときや車道へ乗り入れるときは、いったん止まって周囲の安全を確認!

だれも来ないだろう…と スピードを落とさない

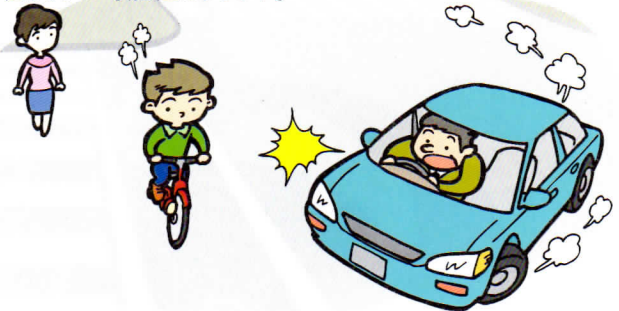
小さな路地、店や駐車場などの出入口は、車や歩行者が急に出てくることがあります。



このような場所では危険を予測し、スピードダウン!

青信号だから…と 安全を確認せずに横断

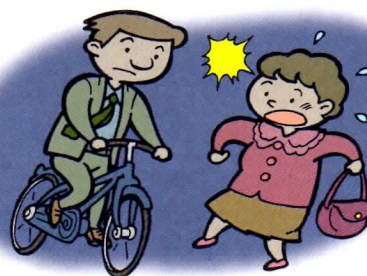
同じ青信号で右左折してくる他の車もいます。それらの車が急に横断してくる自転車に気づかなければ衝突する可能性は大です。



青信号でも周囲の車の動きを確かめてから横断!

ライトが無くても大丈夫…と 無灯火走行

夕暮れどきや夜間、無灯火の自転車は車や歩行者に気づかれにくく危険です。



ライトの点灯や明るい服装、夜光反射材などで、自転車の姿を目立たせましょう。